



◎読書週間

残暑もおさまり、気づけば虫の声と秋の風が心地よい季節になりました。

毎年 10月27日（読書の日）から 11月9日までの2週間は読書週間です。

1947年から、本に親しみ楽しもうという目的で実施されています。2024年の読書週間の標語は、「**この一行に逢いにきた**」です。心に響いた1行を書き留めたり、紹介し合うのも素敵ですね。

◎すこやかランド 9月17日 情報館にて

1才までのお子さんの保護者の方々に向けて、「絵本との出会いを大切に」にというテーマでパワーポイントを使用してお話をしました。その後、情報館の職員が絵本を4冊、読み聞かせをしました。穏やかな良い時間となりました。



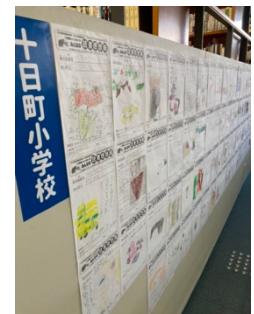
まだ未完成な0～3歳の脳の成長は、言葉環境に大きく影響を受けると言われます。良くも悪くも周りの大人の言葉、行動すべてを模倣する時期です。保護者の方に「是非前向きな美しい言葉で、他者を思いやる姿勢を自らやってみてください。また、お子さんに沢山話しかけてあげてください。そして普段話さない言葉や言いまわしを伝えることができる絵本も使い、子育てを楽しんでください。」とお伝えしました。



◎みんなの読書感想画この夏読んだ、この1冊2024（追加報告）



市内の 14 小学校、2 中学校からご参加頂き、705枚（含一般の方7枚、0～5才28枚）の素敵な読書感想画が集まりました。情報館内で描いてくれた小中学生の読書感想画も127枚あり、夏休みに情報館を利用してくれたことがわかります。



情報館・川西分室・松代分室に11月10日まで掲示しています。また、読書画で紹介された本のテーマ図書コーナーを設置しています。是非御覧ください。沢山の読書感想画のご提出を頂き、誠にありがとうございました。

◎ブックトーク（下条小3・4年生）の様子



「自然」をテーマにした本を紹介しました。自然の世界を表現した日本庭園の話、日食・月食の話、身近なカラスの話、アイヌの自然観の話、星野道夫さんの1枚の写真を元にして書かれたヘラジカの話、風と遊ぶ男の子の話など、身近な自然から壮大な宇宙にまで及ぶ6冊です。



途中、クイズを出したのですが、日本の庭に見られる「鹿威し」を、ほとんどのお子さんが知っていたことにも驚きました。そして我が家の中から持ってきた、モミジとムラサキシキブの枝を見せると、子どもたちは生き生きとした様子で枝を眺め、手に取り、「同じモミジでも葉の形や色が違う」や、「紫色の実がきれい、食べられるのかな？」と言い合っていました。



子どもたちの知りたいという思いや好奇心は素晴らしいですね。落ち着いた様子で熱心に聞いていた子どもたちの姿が印象的でした。